



第70期 報告書

2023年1月1日から2023年12月31日まで



CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

P3 販売品目

P4 連結財務諸表

P5 会社データ

P6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



2024年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第70期（2023年1月1日から2023年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第70期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限が撤廃されたことに加え、円安の影響もあってインバウンド需要が旺盛になったことで人流が増加し、個人消費やサービスに持ち直しの動きが見られました。また製造業では部品供給制約が緩和したことにより、自動車生産においては回復の兆しが見られましたが、経済全体としては、歴史的な物価上昇は長期化し、実質賃金は前年同月比マイナスの状況が続き、さらには世界経済において、中国の不動産不振や米欧の金融引締め等、国内経済を下押しする要因が国内外で存在し、景気減速の警戒が一層強まりました。

鉄鋼業界におきましては、前述のとおり自動車関連には回復の動きが見られましたが、その他の製造業界には回復が見られず、さらに建築関連では不振が続く中小建築だけでなく、大型建築も資材価格の高騰や人手不足が影響し、盛り上がり欠ける状況が続きました。一方、急騰していた鉄鋼価格は、海外価格との乖離や原料価格の下落もあり、一転して軟調に推移しました。また当社グループが属する鉄鋼流通業界では、販売競争が激化し、価格転嫁が満足に出来ない厳しい環境で推移しました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、東日本地区における鉄骨加工の完工増等が寄与し、当連結会計年度の売上高は625億77百万円（前年同期比8.7%増）となりましたが、利益面は在庫の販売スプレッドの縮小に加えて、東日本地区における鉄骨工事関連で外注費用等の追加コストが収益を圧迫し、営業利益は1億65百万円（前年同期比79.5%減）、経常利益は3億円（前年同期比67.6%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は1億3百万円（前年同期比83.1%減）となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、自動車の挽回生産や旺盛なインバウンド需要、さらには所得環境の改善による個人消費の下支え等、緩やかな景気回復が続くことが期待されています。しかしながら、人手不足問題や物価高騰は続いており、さらには中国経済の先行き不安、米国を中心とした金融政策の影響等、国内景気の下振れリスクをばらんでいます。

鉄鋼業界におきましては、需要面では人手不足や資材高により建築向け需要にブレーキがかかっており、製造業界の生産活動においても低調な推移が予想されます。また鉄鋼価格は調整局面をむかえ、一転して円高に振れば一層の先安懸念が生じてまいります。当社が属する鉄鋼流通業界にとっては、当該環境は一層の販売競争の激化が予想され、十分注意が必要な状況となっております。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべく、さらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

①ワンストップ機能の拡充

顧客志向に即した豊富な商品ラインナップを図り、大口・小口を厭わない効率的な荷捌き・配送の仕組みを確立し、現物・即納体制の強化に努めます。また自社加工設備の活用と多くの協力会社との連携によって、一次加工からハイレベルな加工にも積極的に取り組み、あらゆる顧客志向に一貫して応じることのできる体制を一層強化してまいります。

②業務効率化

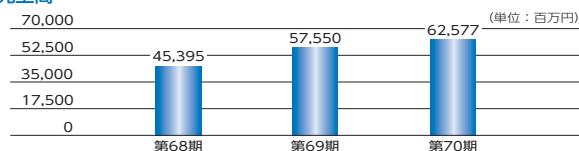
社員のより効率的な働き方を実現するため、デジタル技術の活用と社員一人一人の意識改革を推進するなど、ハード面・ソフト面の積極的な改革に取り組んでまいります。また約4年をかけて開発に取り組んでまいりました、効率的な業務処理と営業支援を最大限に発揮できる新基幹システムの運用が始まることで、さらなる生産性の向上を図ってまいります。

③人材戦略

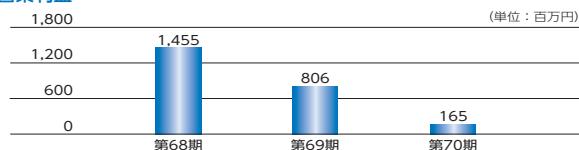
多様化した顧客ニーズに対応する鋼材のエキスパートになれるよう、研修や資格取得等の取り組みを通じて人材の育成に努め、毎年採用やキャリア採用等による優秀な人材発掘、当社グループへの定着化を図ってまいります。

連結財務ハイライト

●売上高



●営業利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



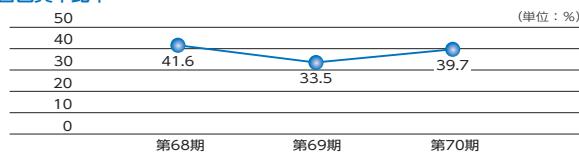
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



(注) 第69期連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しており、第69期連結会計年度以降の連結財務ハイライトについては、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しています。

各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 2022年12月31日現在	当期 2023年12月31日現在
資産の部		
流動資産	36,416	28,823
固定資産	10,773	10,929
有形固定資産	7,495	7,525
無形固定資産	734	810
投資その他の資産	2,543	2,593
資産合計	47,190	39,752
負債の部		
流動負債	29,462	21,948
固定負債	1,668	1,795
負債合計	31,130	23,744
純資産の部		
株主資本	14,846	14,831
資本金	767	767
資本剰余金	633	633
利益剰余金	13,471	13,456
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	967	943
その他有価証券評価差額金	967	943
非支配株主持分	245	233
純資産合計	16,059	16,008
負債及び純資産合計	47,190	39,752

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)	当期 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)
売上高	57,550	62,577
売上原価	52,152	57,729
売上総利益	5,397	4,847
販売費及び一般管理費	4,590	4,681
営業利益	806	165
営業外収益	128	144
営業外費用	7	9
経常利益	927	300
特別利益	—	57
特別損失	4	4
税金等調整前当期純利益	923	353
法人税、住民税及び事業税	343	191
法人税等還付税額	—	△40
法人税等調整額	△32	109
当期純利益	613	92
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	2	△10
親会社株主に帰属する当期純利益	610	103

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)	当期 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△635	2,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△742	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,500	△2,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	123	30
現金及び現金同等物の期首残高	1,028	1,151
現金及び現金同等物の期末残高	1,151	1,182

【会社概要】 (2023年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	767,562,500円
従業員数	15名 (連結従業員数：234名)
主要な事業内容	当社グループは、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

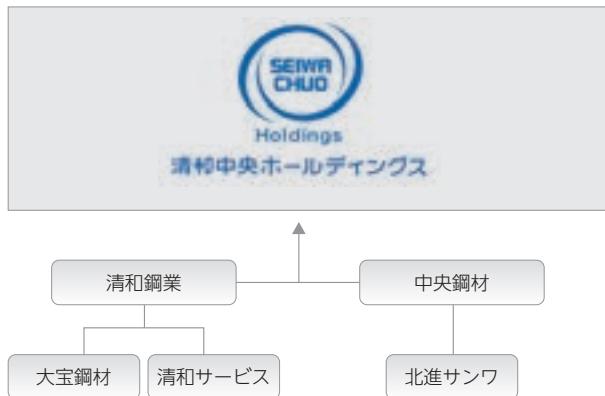
【役員】 (2024年3月28日現在)

代表取締役社長	阪上正章
専務取締役	阪上恵昭 管理本部長
取締役	伊吹哲男 経営企画部長
取締役	後藤信三
取締役	草野征夫
常勤監査役	岸保典
監査役	小西弘之
監査役	圓隆一

- (注) 1. 取締役草野征夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役岸保典、小西弘之、圓隆一の3氏は、社外監査役であります。
3. 取締役草野征夫氏および監査役岸保典氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
4. 監査役小西弘之氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】

(2024年3月28日現在)



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社	〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20	TEL：06-6581-2131
中央鋼材株式会社	〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-5	TEL：03-6891-4800
大宝鋼材株式会社	〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23	TEL：06-6581-2205
清和サービス株式会社	〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29	TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

北進サンワ株式会社	〒340-0813 埼玉県八潮市木曽根1212-3	TEL：048-999-7373
-----------	---------------------------	------------------

【株式情報】 (2023年12月31日現在)

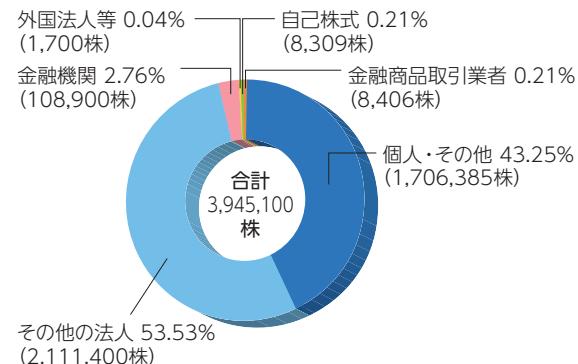
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,945,100株
- 3) 株主数 559名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	582,600株	14.80%
エスケー興産株式会社	575,800	14.63
阪上 正章	432,180	10.98
大和製罐株式会社	377,800	9.60
阪上 恵昭	320,700	8.15
東洋商事株式会社	149,500	3.80
エムエム建材株式会社	130,000	3.30
加藤 匡子	121,700	3.09
小田 敏花	96,500	2.45
コンドーテック株式会社	60,000	1.52
フルサト工業株式会社	60,000	1.52

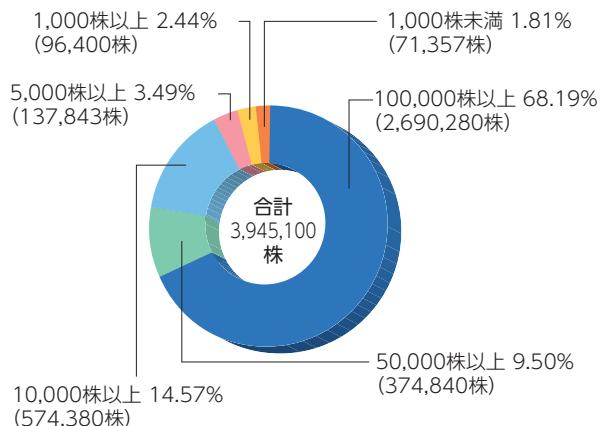
(注) 持株比率は自己株式 (8,309株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (2023年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 スタンダード市場

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報



清和中央ホールディングス

検索

